

平成 24 年度 シラバス	学年・期間・区分	3 年次 ・ 通年 ・ A 群	
	対象学科・専攻	電子制御工学科	
情報処理 II (Information Processing II)	担当教員	前期：岸田 一也 (Kishida, Kazuya) 後期：河野 良弘 (Kawano, Yoshihiro) 福添 孝明 (Fukuzoe, Takaaki)	
	教員室	岸田：専攻科棟 4 階 (TEL：42-9084) 河野：機械工学科棟 1 階 (TEL：42-9082) 福添：普通教室棟 3 階 (TEL：42-9086)	
	E-Mail	岸田：kishida@kagoshima-ct.ac.jp 河野：kawano@kagoshima-ct.ac.jp 福添：fukuzoe@kagoshima-ct.ac.jp	
教育形態／単位の種別／単位数	講義・演習 / 履修単位 / 2 単位		
週あたりの学習時間と回数	[授業 (100 分)] × 30 回		
〔本科目の目標〕 現代社会の情報化に対応するため、情報処理の基本的な概念と、構造化プログラミングとして優れている C 言語を修得させ、電子計算機に対する理解と各専門分野で活用できる能力を養う。			
〔本科目の位置付け〕 IT 技術が発展している現在、技術者に要求されるプログラミング技法について学習する。更に高学年になるにつれて、機械機器等を制御する手段としてのプログラミング言語として活用される。			
〔学習上の留意点〕 C 言語の文法とプログラム構造を充分理解し、電子計算機でのプログラム実習によってプログラミングと、いろいろな処理に対するアルゴリズムの理解につとめること。また、課題を与えるので、その課題をプログラムし、電子計算機に実行させた結果をレポートにて提出することが求められる。			
〔授業の内容〕			
授 業 項 目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
1. 2 年次の復習	6	<input type="checkbox"/> 2 年次に習った内容の復習を行う。	p.10-p.120 の内容について、教科書を読んでプログラミングの知識を再確認しておく
2. ポインタ	12	<input type="checkbox"/> ポインタの概念を理解し、次のポインタ変数について応用できる。ポインタとアドレスの概念を理解できる。 <input type="checkbox"/> (1) ポインタと文字列 <input type="checkbox"/> (2) ポインタと一次元配列 <input type="checkbox"/> (3) ポインタと二次元配列 <input type="checkbox"/> (4) ポインタ配列	p.120-p.133 の内容について、教科書を読んで概要を把握しておく
—前期中間試験—		授業項目 1～2 について達成度を確認する。	
3. 関数	10	<input type="checkbox"/> 関数の値による呼び出し・参照による呼び出し・グローバル変数渡しについての概念を理解し、次の関数への値の受け渡しについて応用できる。 <input type="checkbox"/> (1) 配列データを引き渡す <input type="checkbox"/> (2) ポインタ配列を渡す <input type="checkbox"/> (3) 関数プロトタイプ	p.42-p.47, p.154-p.173 の内容について、教科書を読んで概要を把握しておく。また事前にプリントを配布するので、それを授業までに読んで概略を理解しておく。
—前期期末試験—		授業項目 1～3 について達成度を確認する。	
試験答案の返却・解説	2	各試験において間違った部分を理解出来る。	
4. 構造体	14	<input type="checkbox"/> 構造体の概念とその使い方について理解できる。	p.141-p.152 の内容について、教科書を読んで概要を把握しておく。
— 後期中間試験 —		授業項目 1～4 について達成度を確認する。	
>>> 次頁へつづく >>>			

